

文化祭で地域交流の輪が広がる



みんなでロープマジックに挑戦!!



中野市公民館報

2013 **12**
 No.105
(通巻 No.637)
 発行 中野市中央公民館
 編集 文化なかの編集委員会
 〒383-0025
 中野市三好町一丁目4番27号
 TEL 0269-22-2691
 FAX 0269-26-2342

初めての体験

11月3日(日)に第20回東吉田区民文化祭が盛大に開催されました。午前10時から玄関前で野菜の即売会が行なわれ、時間前から大勢の皆さんが行列をつくり思い思いに買い求めていました。分館ではキノコ汁を提供し人気を集めていました。続いて、2階の広間で、日本舞踊、大正琴、ハンドベル、民謡三味線の演奏、ハイキングクラブの寸劇、ト리는いつも人気の手品の発表でした。今年も、子ども達や分館役員もマジックに挑戦することができました。また、趣味の写真や手作り作品などの展示、今年の行事を振り返った写真が会場に展示され購入希望者の取りまとめが行なわれました。子どもたちからシニアの皆さんまで楽しい一日を過ごすことができ、一年を締めくくる行事となりました。

今月号の特集
公民館の文化祭

あおぞら

中野市に住むようになって13年目を迎え、ようやく生活にも慣れてきた。そんな私が中野に来て驚いたのは、「ありがとう」という言葉である。もちろん

実家でも感謝の気持ちを伝えるときに使う言葉だが、「ありがとうございます」、あるいは「すいません」という言葉を使っている。

ところが、中野では独特の口調(文字では表現できない)で「ありがとう」という言葉が飛び交っていた。私なら反射的に「すいません」が口から出てしまい、「ありがとう」は躊躇(ちゅうちゅう)してしまう(どうしても後ろに「ございます」がつく)。中野ではごく当たり前の習慣なのかもしれないが、他県出身者の私には驚きであり新鮮であった。

他人に感謝の気持ちを「ありがとう」と自然に伝えることができるのは、とても素晴らしい習慣であると思う。このような習慣はいつまでも続いてほしいと思う。

(あ、ありがとう)

中央・北部・西部・豊田

中央公民館

更なる50周年を目指して



MIDORI トワールメイツ

中野市文化芸術協会と中央公民館が主催している中野市総合文化祭は、今年で41周年を迎えました。長きにわたり芸能祭、文化展を開催し文化芸術鑑賞を通じて多くの皆様に芸術の秋を楽しんでいただいています。

10月26日(土)に「芸能祭」を開催し、芸能部門の20団体が、ダンス、民謡、舞踊など23演目を発表しました。子ども達のかわいいダンスや、孫と一緒に披

露した素晴らしい民謡、練習を重ね円熟された芸に会場から大きな拍手が送られていました。

例年同時期に開催している文化展は、中央公民館耐震工事に伴い12月14日(土)・15日(日)に、芸術部門の団体が、絵画、写真、華道、書道、短歌、俳句などの作品を中央公民館に展示します。大勢の皆様の来館をお待ちしております。



中野民謡会

北部公民館

地域文化の創造

北部公民館では、地域文化創造祭第26回文化祭を10月26日(土)・27日(日)に開催しました。

26日は中野市赤岩でギャラリィ&ライブハウス翔天地を設立し、地方文化芸術を発信している野田純子さんによるオリジナルコンサートがありました。

ピアノ、フルート、シンセサイザーの音色に合わせて大地で生きる大切さ、素晴らしい歌を、語っていただきました。



高社組による謡曲演劇「国定忠治」

作品展では、科野小学校児童が絵、書、手作りのバックを出品しました。科野地区や地域住

民の皆さんからは、絵画、写真、書、盆栽、彫刻など作品が出品され、北部公民館でサークル活動されている皆さんからも陶芸、絵手紙、水彩画、華道などが出品されました。多彩な作品が展示され、大勢の市民が足を止めていました。

27日には芸能祭がおこなわれました。吹奏楽、軽音楽、合唱、ハーモニカ、ダンス、フラダンス、バレエ、落語、謡曲演劇、詩舞、雅楽演奏などを15団体が約6時間にわたって熱演し、満員となった会場からは大きな拍手がわいていました。

科野地区の皆さんの盆栽



サークル団体の作品



特集

公民館の文化祭

● 西部公民館 ●

集い・学び・交流

西部公民館は、11月9日(土)・10日(日)に第23回文化祭を開催しました。玄関では安源寺子ども会の皆さんが植えてくれたパンジーやビオラの花が来館者をお迎えしました。作品展では地域の方や趣味の団体が作った押絵、生け花、写真、はり絵等様々な作品の他に、高丘小学校児童、中野平中学校生徒の作品や、西部公民館主催の講座で受



色とりどりの作品たち



キッズダンス!

等々の作品が彩りを添えてくれました。10日の芸能祭では、琴やコカリナの演奏バレエ、キッズダンスなど18団体による多彩な発表があり、日頃の成果を存分に発揮して大勢の来場者を楽しませてくれました。また、点前茶席によるおもしろいやアロマテラピー体験もあり、文化祭会場は大盛況でした。



空手の演武



点前茶席

● 豊田公民館 ●

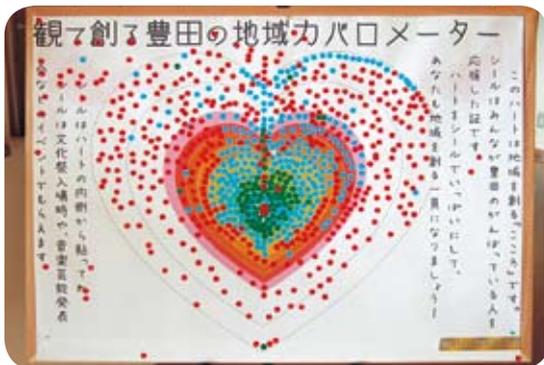
発表者と観客、互いに創る文化祭へ

今年で第9回となる豊田公民館文化祭は「魅せて創り、観て創る輝く地域」をスローガンとして開催し、10月25日(金)・27日(日)は作品展、26日には映画上映会、27日には音楽芸能団体の発表会を行いました。今年も、サークルと実行委員でワイガヤ・ミーティングを行い、「文化祭を盛り上げるために、自分(たち)が何ができるのか」を話し合い、それぞれ努力してきました。



地域に「魅せる」私たちのチカラ!

観る方も地域を創っていることを実感してもらうために、玄関に豊田の地域力バロメーターを設置して、入場時などにシールを貼ってもらいました。当日は沢山の方にご来場いただき、大きなハートが広がりました。シールの数が応援の数。応援を受けて、サークルがいつそう張り切り、それを観て地域のファンが増える。そうして、豊田地域を盛り上げていけたらと思います。



来年はハートをもっと大きく広げたいな

こんにちは 分館

日和区は、上信越自動車道中野インターのある高丘地区にあります。

草間区より分区分して二十年になります。180世帯の区です。長い歴史のある区とは違う一面もあり、また、多種多様な時代になり、分館主催事業に参加いただけるためには大変なこともあります。

しかし、行事を楽しみにしていただいている区民の方々もいらつしや

より 日和分館

いますので、少数参加であっても続けていきたいと思っています。

一年間の分館主催の主な事業は、そば打ち体験・球技大会・人権懇談会・研修旅行：等々を計画して進めています。また、区主催行事には全面協力という形で参加しています。

少子高齢化がささやかれる中、若い人達にもより多く参加していただける分館主催行事を計画し、当地区皆様の交流の場となるよう取り組んでいきたいと思っています。引き続き区民の皆様には、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(日和分館 池田喜志郎)



盛會な球技大会慰労会

ふるさととの歴史

日和ヶ丘団地のある高丘台地には、土器を作るのに適した良質の粘土が多く堆積している。縄文・弥生の時代から周辺の住民が採集し土器を造り、食物の煮炊きの甕、貯蔵する壺などに使用して、食物の加食の範囲を拡大していた。

しかし、最もこの粘土が利用されたのは、律令体制下の7世紀後半から9世紀までで、傾斜地を利用して50基以上の登り窯がつくられ、椀・甕・壺などの器物や、寺院の布目瓦なども焼かれていた。これらは高井郡衙の統制のもとで運営されていたとみられ、信濃の最北の生産地

日和ヶ丘団地

として、千曲川などを利用して周辺に供給されたとみられる。

登り窯の運営には多量の燃料の消費が伴う。この集積の方法や、季節風の利用など究明を要する課題がある。これらの登り窯は、工場や住宅団地の造成、高速道などの道路の建設に

よって大部分が破壊されてしまった。しかし保存されているものもある。

日和ヶ丘団地は大字草間に属している。近世には村高が千石余りの耕地を持ち、小藩である越後の椎谷藩領に属し、幕府領に比べて年貢の取り立てが厳しかったといわれている。

加えて本村は水害などにも悩まされていた。

日和ヶ丘団地が大きく変貌したのは戦後である。50年前までは低地に「池田」と呼ばれる天水田があり、丈の長い稲が植えられ、周辺は畑作や山林地帯であった。

周辺に高丘工場団地（一九八一年22工場操業）が造成され、それらと関連して民営の日和ヶ丘住宅団地が一九七五年（昭和50年）頃より計画された。そして、主要地方道中野・豊野線の整備、隣接する高速道中野インターの開設などがあつた。そして現在は、高丘台地の大住宅団地として運営されている。

(檀原 長則)

中野～小布施サイクリング



10月27日(日)に西部公民館生きがいづくり講座「スポーツバイク入門講座」が開催されました。当日は20代から60代までの幅広い世代の方が参加しました。おおよそ自転車クラブのみなさんの指導のもと、天候にも恵まれ、小布施までのサイクリングを一杯楽しみました。自転車は生涯できるスポーツです。そして北信州は自転車では最高の場所です。みなさんスポーツバイクを始めませんか。

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	パソコン ふれあいサロン 〈内容〉パソコンを使用していて、わからないところを指導員がお答えします。	毎週月曜日 ※祝日、年末年始を除く 午後1時30分～4時30分	中央公民館 団体室	新技術振興会	〈定員〉6名 〈受講料・申込〉不要 ※メニューに沿って進めるパソコン教室とは異なります。
	中野市 国際交流の集い ☆タイ文化に触れよう☆	1月19日(日) 午後1時～3時	中央公民館 講堂		外国出身者と日本人の交流の場です。今年はタイ国を中心に異文化交流を楽しみましょう。お子さんと一緒に参加も大丈夫です。
	中央公民館ギャラリー 水墨画展 2・3墨友会				
西部公民館	シニア大学	12月6日～2月28日 (毎回金曜日) 午後1時30分～3時 (全11回)	西部公民館	大学教授、ご住職 スポーツ指導員、 音楽団体ほか のみなさん	〈参加費〉無料 〈持ち物〉筆記用具 ※大学教授、ご住職の講座や健康体操、音楽鑑賞など様々な内容で行ないます。
	郷土料理に親しもう！ ～親子でリンゴ大福とお団子作り～	1月18日(土) 午前10時～12時30分	西部公民館 料理教室	長野県食生活 改善推進協議会 顧問 原 楫 先生	〈定員〉20名 〈材料費〉300円 〈持ち物〉エプロン、三角巾、マスク
豊田公民館	ものづくり ～伝統のまゆ玉づくり体験～	1月11日(土) 午前10時～正午	もみじ荘	信州中野ふるさと交流団のみなさん	〈定員〉40名 〈材料費〉100円 〈参加料〉無料※ ※入湯される方は別に入湯料をお支払いください。 〈持ち物〉はさみ、お盆、エプロン

なかの21市民講座

近年、日本人の食生活は和食型から欧米型へと大きく変化しました。そのため、体には生活習慣病が、心は情緒を失い攻撃型が多くなったといわれます。先生の幅広い知識から「人生」や、「セカンドライフ」についても考える講演会です。

定員300名
(当日先着順)



演題

「真の食育とはなにか」

講師

東京農業大学名誉教授、
鹿児島大学客員教授ほか

こいずみ たけお
小泉 武夫 先生

- プロフィール
- 長野県食の総合アドバイザー
- 1943年福島県の酒造家に生まれる。
- 専門は発酵学、食文化論、農学博士。
- 醸造学、発酵学者で「健康や老化の防止は発酵食品に宿る」と説く異色の博士。
- 食・食文化に関する数多くの書籍を執筆し、その数は125冊を数える。また、数多くの国・地方自治体の委員や理事を兼任し、各地での講演会も積極的に行っている。

日時

平成26年 **2月9日(日)** 午後1時30分～3時

会場

中野市中央公民館 3階講堂

駐車場が狭いので、車の方はなるべく相乗りでお出かけください。

入場
無料

■問い合わせ先 中野市三好町一丁目4番27号 中央公民館 電話 0269-22-2691



初冠雪の田上山を望む／柳沢 (小林幸成)



熟れるマユミ／草間 (宮澤 聡)



青空に柿／一本木 (月岡尚雄)



千曲川のコハクチョウ／柳沢 (湯本明雄)

花と季節の写真募集

宛先

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館

☎222・2691
Eメール c-kominkan@city.nakanonagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限り、四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送ってください。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝えください。随時募集!

輝いていきます

朗読の会「ほおずき」は、1999年に発足しました。現在会員十二名。当初は、朗読を楽しむために作られた会でしたが、現在はボランティア連絡会への参加、デイサービス、グループホーム、児童センターで月一回、絵本の読みきかせや昔話の読み語り等の活動をしています。

会長の宮腰みどりさん(小田中)は、「読む側も聞く側も楽しい時間を過ごせるように工夫しています。さらに勉強して、大勢の人に朗読を聞いて欲しい」と意欲的です。



▶昔話の読み聞かせ